

日本對外直接投資與產業空洞化之研究

陳志坪

國立高雄第一科技大學 應用日語系 助理教授

摘 要

日本經濟自廣場協議之後，日圓加速升值。日本企業為提高商品價格競爭力，將部分商品生產移往國外，並且將商品回銷日本，替代國內商品的製造。隨著回銷商品的增加，原有之製造業產值逐漸減少，並發生產業空洞化的現象。本文以 Rowthorn & Ramaswamy (1999) 模型做基礎，對日本經濟的產業空洞化做實證。實證結果顯示，日本的對外直接投資、進口對製造業的產值與就業產生影響；對製造業的相對生產力於統計量是顯示無意的結果。這表示對外直接投資對製造業相對生產力之影響性微弱，這結果與其他先進國家的產業空洞化現象有所不同。

關鍵詞：產業空洞化、對外直接投資、生產力、GDP、貿易

日本の対外直接投資と産業空洞化

陳志坪

国立高雄第一科技大学 応用日本語学科

要旨

日本経済はプラザ合意以降、円が急速に上昇した。日本企業は価格競争力をさらに高めるため、生産拠点を海外へ移転し、海外で生産された製品の一部が国内製品に代替した。これが日本国内に産業空洞化の現象を引き起こした原因である。本論は Rowthorn & Ramaswamy (1999) のモデルに基づいて日本の産業空洞化現象を推定した。検証した結果、日本の海外直接投資と輸入の拡大などの要因が日本の製造業総生産と雇用状況に影響を与えたが、海外直接投資は製造業の相対生産性に対して、有意ではない。これは、海外直接投資の要因は製造業の生産性に影響を与えていないということである。この点については、その他の先進国と異なっていることを明らかにした。

キーワード：産業空洞化、海外直接投資、生産性、GDP、貿易